

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	ミュオン異常磁気能率の精密測定による新物理法則の探索
研究代表者	齊藤 直人（大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構・素粒子原子核研究所・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>本研究は、素粒子の標準模型のアノマリーである可能性が指摘されているミュオン磁気異常能率を精密に測定し、その原因を究明しようとする実験的研究計画である。新たな物理法則解明の道につながる可能性を持つ計画であり、学術的な意義は高い。</p> <p>実験に当たっては、応募者らが開発してきた「極冷ミュオンビーム」を用いることにより、高精度の測定を可能にしようとするもので、この点が他にないユニークな点である。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p> <p>なお、本研究費は主に検出器の開発に用いられる予定であり、ミュオン磁気異常能率を実際に測定するまでには、他の大型の研究費が必要であると思われる。本研究が、ミュオン磁気異常能率測定計画全体を大きく前進させることを期待する。</p>